

## 市民学コース 木と私たち

- 第7回 緑化の知識を得よう
- 第8回 庭の手入れを経験しよう
- 第9回 谷津の森保全活動



### ①第7回 緑化の知識を得よう

平成28年10月16日（日） 10:00～16:00

植物振興センター 参加者 8名

埼玉県”花と緑の振興センター”で職員の方に園内を案内してもらいました。

この植物園は植木職が多い安行で、庭職人が扱う植木、鑑賞用樹木類を中心に2000種以上の植物を展示してあります。センターでは地域の緑化などを推進する”街の緑のサポート養成研修”や植木職人を育てる”造園研修会”を実施しています。

園は道を挟んで東園、西園と別れています。

事務所のある東園からスタートです。Welfare Garden(ウェルファエア・ガーデン)ではクレマチス、カルミア(ツツジ科)、シモツケ・ゴールド・マンド(バラ科)、カリカンサツ・ハートレッシ・ワイン(ロウバイ科)、セイヨウバイカウズキ(アジサイ科)、カメリア・エリナ・カスケード(ツバキ科)などがあり、車いすでも鑑賞できる通路があります。

温室では桜の苗木が育てられて、桜の品種では”旭山””十月桜””天城吉野””安行寒桜””大山桜”などを鑑賞し、道を挟んだ西園に移動しました。

ラクウショウ(落羽松)の大きな木には特徴である呼吸根が見られます。カエデ類も沢山の種類が植えられています。竹も”ホテイチク””ラッキョウヤダケ””ナリヒラ””スズコナリヒラ””モウソウチク””ベニホウオウ”など、カエデの仲間”メグスリノケ”や夏に強い樹木”ナツツバキ””ヒコサンヒ



メシヤラ”、”キョウチクトウ”など、ケヤキはむさしの1号と2号があり、1号は枝があまり広がらず狭い場所での植栽に、2号は樹形がU字型になる 黄葉し原木は埼玉県川口市で接木繁殖です。ハーブ類、柑橘類もあります。マツ属の中で葉が最も長い”ダイオウショウ”もありました。近くには植木を扱っている樹園もあり秋には公開している園内で紅葉が楽しめるとのことです。





## ②第8回 庭の手入れを経験しよう

平成28年11月26日（土） 10:00～15:30

富士見市東大久保 参加者 10名8

昨年に引き続き人災バンクの本多氏に講師をお願いし、受講生の庭木(松)の剪定実習をしました。2本の松は昨年の剪定の結果、枝ぶりが良くなっており、受講生の剪定にも力が入ります。

まず、剪定する松の下にブルーシートを敷き詰め、剪定した葉が容易に片付けられるようにします。

脚立は倒れないように縛り安全を第一に作業にかかりました。

講師から選定に役に立つ本を贈呈していただきました。受講生で回し読みをすることにしました。





講師が消毒の仕方を手押しのポンプで実際に薬剤散布して教えてもらいました。



各自それぞれ枝を講師に聴きながら剪定しました。

剪定後、講師から剪定作業について良くできたとのことのお褒めを頂きました。

今回は受講生も剪定の手つきが良くなっています。お昼を挟んで、最後まで剪定ができたので、来年はもっと枝ぶりが良くなると思います。





### ③第9回 谷津の森保全活動

平成29年2月26日(日) 10:00~11:30

谷津の森公園 参加者 13名

今年は風もなく良い天気で気持ちよく汗を流しました。

作業場所は谷津の森公園の下の段の部分です。以前から積んであった切り倒した竹の枝を落とし、木の枝短く切り、景観をそこなわない斜面に移動して整理し、樹木の種が落ちて芽吹いた幼木がずいぶんあり、地面が見えないように茂っており間伐しました。

昨年は保全活動ができなかったが、竹もずいぶん増えて竹林の感じがしてきました。日照の関係で斜めに伸びているようですが、ツタなどで引き倒されている竹、伸びたら寝てくる竹は切り取りました。

今回は空き缶、空き瓶、レジ袋ごと捨てられたゴミがありました。通行人が捨てていくのかもしれませんが、マナーを守れないのは残念なことです。

1時間程度の作業で終了し、恒例の皆で女性の受講生に作ってもらった豚汁を頂いて終了しました。





